

沖縄県の尖閣諸島周辺で中国による領海侵犯が続いている。2日には中国の海洋監視船4隻が侵入し、領海侵犯は日本が尖閣を国有化してから4回目となつた。野田佳彦首相は同日の副大臣・政務官人事で、外務、防衛両省に自らに近い議員を送り込むなど、対中政策の強化を急ぐ。

海上保安庁は2日午後6時50分ごろまでに、沖縄県尖閣諸島周辺で航行してい

た中国の海洋監視船4隻が接続水域の外に出たのを確認した。海保は引き続き周辺海域で警戒活動にあたっている。

中国公船による領海侵犯

は9月24日に3隻が尖閣周

辺の領海に入つて以来、中国の領海侵犯が常態化しつつある。先月25日には台湾船も侵入した。外務省の杉山晋輔アジア大洋州局長は

辺の領海に入つて以来、中国の韓志強駐日公使に電話で抗議、公船を領海外に退去させるよう要求した。

首相は緊張緩和と領土・

領海の防衛強化を両にらみ

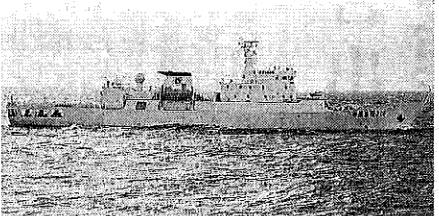
た。政府内には1日から

は対日強硬姿勢が少しは和らぐのではないかとの期待

感もあるが、緊張関係は長期化するとの見方が強い。

中国の国家海洋局は2日声明を発表し、中国の海洋監視船4隻が尖閣諸島の領海に入ったのは「日本の右翼人員が釣魚島(尖閣諸島の中国名)の領海に入つて違法な行為をしたことに対する応じた」と主張。現在は釣魚島の海域で主権維持のための正常な巡航公務活動を実施している」と指摘した。

尖閣、領海侵犯続く



尖閣諸島沖を航行する、中国の海洋監視船(2日、第11管区海上保安本部提供)

対中政策、人事で強化

している。尖閣問題に対応してきた玄葉光一郎外相をしてきた内閣改造で再任。2日の中の副大臣・政務官人事では野田グループに所属し、外交・安保担当の首相補佐官だった長島昭久氏を防衛副大臣に起用した。同氏は

玄葉外相は2日、外務省内で記者団に「静かな環境で対話をする必要がある。効果的な意思疎通のためにも中国側に自制を求めたい」と述べ、対話による関係改善を中国に呼びかけた。

首相、外交・防衛両にらみ

中国共産党は先月末、次期指導部人事を決める党大会の日程や不祥事で失脚した薄熙来氏の処分を決定した。政府内には1日から

は対日強硬姿勢が少しは和らぐのではないかとの期待感もあるが、緊張関係は長期化するとの見方が強い。

中国の国家海洋局は2日声明を発表し、中国の海洋監視船4隻が尖閣諸島の領海に入ったのは「日本の右翼人員が釣魚島(尖閣諸島の中国名)の領海に入つて違法な行為をしたことに対する応じた」と主張。現在は釣魚島の海域で主権維持のための正常な巡航公務活動を実施している」と指摘した。

首相官邸で尖閣国有化にあたった中核メンバーだ。

さらに、外交関係に詳しい吉良州司氏と、防衛副大臣を長く務めた榛葉賀津也